

(第 31 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 6 年 7 月～9 月期)

まずはじめに、実働率について見てみると、「横ばい」率は前年よりも増加し、57.1 ㊦に達し、稼働状況が高い安定を保っている一方、「上昇」については 15.9 ㊦と前年に比べて低水準が続いており、また「低下」の割合が 27.0 ㊦と前年の水準より高い値が続いていることから、経済環境や需要の低迷が影響していることが考えられる。今後の経済状況や需要変動を見越した柔軟な戦略が重要であると考えられる。

実車率については、「上昇」の割合が 15.9 ㊦と減少に転じ、「横ばい」の割合が 58.7 ㊦と高水準を維持しており、安定している一方で成長の鈍化が懸念され、実車率の安定性や季節性による変動を考慮し、効率的な運用計画を立てることが重要である。

ドライバーの過不足状況では、「不足」が 18.8 ㊦増加しており、深刻なドライバー不足が引き続き課題である中、特に需要増加時期に向けた計画的な人材確保が安定した運営に不可欠である。

また、所外労働時間については、「増加」が低水準、「減少」が高水準で推移しており、働き方改革により各社の取り組みが進んでいることが見受けられる。

経常損益を見てみると、3 期ぶりに「好転」が増加し、徐々に業績改善の傾向が見受けられた。

輸送数量については、「増加」が 2.4 ㊦増加しているものの、他の年度と比べると伸びは鈍化している。また、「減少」が 12.8 ㊦と大きく減少しているが、経済や外的な要因が影響していることが示唆される。これらの傾向から、繁忙期に対応するためのリソース確保や、年度初めの需要低迷に備えた戦略が必要であることが見受けられる。

次に、営業収入、営業利益を見てみると、営業収入では「増加」が 8.8 ㊦増加し、回復基調が見受けられるものの、「減少」が高水準で推移している点は収入の減少が懸念される。営業利益においても同様に、「増加」が 7.7 ㊦増加しているものの、「減少」は高水準での推移の傾向があり、利益の減少を抑える対策が求められる。

運賃・料金の水準について見てみると、「上昇」が 7.2 ㊦増加しており、堅調に水準していることが見受けられた。

項目により不安定な要素はあるものの、業界の景況感については、「好転」が 10.7 ㊦増加し、「悪化」が 16 ㊦減少しており、改善の傾向が見受けられた。

令和 6 年 11 月 5 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第31回）

令和6年7月～9月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	20 社	31.7%	51～100人	2 社	3.2%
11～20人	18 社	28.6%	101～300人	2 社	3.2%
21～30人	11 社	17.5%	301人～	1 社	1.6%
31～50人	8 社	12.7%	未回答	1 社	1.6%

2. 女性ドライバー数

63 社中 19 社 平均人数 3.4 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	12 社	19.0%	51～100両	1 社	1.6%
11～20両	19 社	30.2%	101～300両	2 社	3.2%
21～30両	11 社	17.5%	301両～	2 社	3.2%
31～50両	9 社	14.3%	未回答	7 社	11.1%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 米・麦・穀物	0 社	1 社	0 社
2. 生鮮食品	1 社	0 社	0 社
3. 加工食品	1 社	2 社	2 社
4. 飲料・酒	3 社	1 社	0 社
5. 原木・材木等の林産品	2 社	0 社	2 社
6. 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品	2 社	0 社	1 社
7. 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材	6 社	3 社	2 社
8. 鋼材・建材等の建築・建設用金属製品	10 社	10 社	2 社
9. 壁紙・タイル等の住宅用資材	0 社	2 社	2 社
10. 金属部品・金属加工品（半製品）	5 社	2 社	3 社
11. セメント・コンクリート・コンクリート製品	0 社	0 社	2 社
12. ガソリン・軽油等の石油石炭製品	3 社	0 社	0 社
13. 合成樹脂・塗料等の化学性原料	3 社	2 社	0 社
14. 医療品	2 社	1 社	2 社
15. その他の化学製品	3 社	3 社	1 社
16. 紙・パルプ・印刷物	3 社	3 社	3 社
17. 糸・反物等の繊維素材	0 社	0 社	0 社
18. 衣類・布団等の繊維製品	0 社	2 社	0 社
19. 日用品	4 社	4 社	4 社
20. 引越荷物	0 社	0 社	3 社
21. プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品	2 社	7 社	2 社
22. 機械ユニット・半製品	1 社	1 社	1 社
23. 精密機械・生産用機械・業務用機械	5 社	1 社	1 社
24. 家電・民生用機械	1 社	0 社	2 社
25. 完成自動車・オートバイ	0 社	0 社	0 社
26. 再生資源・スクラップ	0 社	1 社	0 社
27. 廃棄物	1 社	0 社	0 社
28. 宅配便・特積貨物	0 社	0 社	1 社
29. 空容器・返送資材	0 社	1 社	0 社
30. その他	2 社	4 社	2 社
31. 未回答	2 社	11 社	24 社

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和6年7月～9月期)

※63社回答

	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
実働率	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	0	0.0%	11	17.5%	33	52.4%	17	27.0%	2	3.2%
前期比	0	0.0%	10	15.9%	36	57.1%	16	25.4%	1	1.6%
先行き	0	0.0%	11	17.5%	38	60.3%	14	22.2%	0	0.0%

実車率	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	0	0.0%	9	14.3%	36	57.1%	16	25.4%	2	3.2%
前期比	0	0.0%	10	15.9%	37	58.7%	15	23.8%	1	1.6%
先行き	0	0.0%	9	14.3%	42	66.7%	12	19.0%	0	0.0%

ドライバーの過不足	1.不足		2.やや不足		3.適当		4.やや過剰		5.過剰	6.未回答
今期の状況	10	15.9%	27	42.9%	25	39.7%	1	1.6%	0	0.0%
先行き	14	22.2%	30	47.6%	19	30.2%	0	0.0%	0	0.0%
ドライバーの採用状況	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1	1.6%	7	11.1%	42	66.7%	9	14.3%	3	4.8%
前期比	0	0.0%	6	9.5%	44	69.8%	8	12.7%	3	4.8%
先行き	0	0.0%	12	19.0%	34	54.0%	9	14.3%	6	9.5%

ドライバー以外の過不足	1.不足		2.やや不足		3.適当		4.やや過剰		5.過剰	6.未回答
今期の状況	4	6.3%	22	34.9%	33	52.4%	3	4.8%	1	1.6%
先行き	8	12.7%	19	30.2%	32	50.8%	3	4.8%	1	1.6%
ドライバー以外の採用状況	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1	1.6%	8	12.7%	46	73.0%	7	11.1%	1	1.6%
前期比	0	0.0%	7	11.1%	49	77.8%	6	9.5%	1	1.6%
先行き	0	0.0%	11	17.5%	42	66.7%	8	12.7%	2	3.2%

所定外労働時間 (休日労働を含む)	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0	0.0%	5	7.9%	37	58.7%	19	30.2%	2	3.2%
前期比	0	0.0%	4	6.3%	38	60.3%	20	31.7%	1	1.6%
先行き	0	0.0%	6	9.5%	45	71.4%	12	19.0%	0	0.0%

貨物の再委託の割合	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0	0.0%	7	11.1%	41	65.1%	10	15.9%	3	4.8%
前期比	0	0.0%	8	12.7%	41	65.1%	9	14.3%	3	4.8%
先行き	0	0.0%	11	17.5%	38	60.3%	9	14.3%	3	4.8%

経常損益	1.大幅に好転		2.やや好転		3.変化なし		4.やや悪化		5.大幅に悪化	6.未回答
前年同期比	2	3.2%	15	23.8%	23	36.5%	21	33.3%	2	3.2%
前期比	0	0.0%	14	22.2%	27	42.9%	19	30.2%	3	4.8%
先行き	0	0.0%	9	14.3%	26	41.3%	27	42.9%	1	1.6%

業界の景況感	1.大幅に好転		2.やや好転		3.変化なし		4.やや悪化		5.大幅に悪化	6.未回答
前年同期比	0	0.0%	9	14.3%	26	41.3%	25	39.7%	3	4.8%
前期比	0	0.0%	9	14.3%	32	50.8%	18	28.6%	4	6.3%
先行き	0	0.0%	9	14.3%	26	41.3%	24	38.1%	4	6.3%

今期の水準	1.良い		2.ふつう		3.悪い		4.未回答	
	8	12.7%	33	52.4%	20	31.7%	2	3.2%

輸送数量全体	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	12	19.0%	27	42.9%	18	28.6%	3	4.8%	3	4.8%
前期比	0	0.0%	13	20.6%	31	49.2%	15	23.8%	1	1.6%	3	4.8%
先行き	0	0.0%	11	17.5%	29	46.0%	18	28.6%	2	3.2%	3	4.8%

取扱い1位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	14	22.2%	24	38.1%	21	33.3%	2	3.2%	2	3.2%
前期比	0	0.0%	11	17.5%	31	49.2%	18	28.6%	1	1.6%	2	3.2%
先行き	0	0.0%	14	22.2%	25	39.7%	20	31.7%	2	3.2%	2	3.2%

取扱い2位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	2	3.2%	11	17.5%	24	38.1%	15	23.8%	0	0.0%	11	17.5%
前期比	1	1.6%	9	14.3%	27	42.9%	15	23.8%	0	0.0%	11	17.5%
先行き	1	1.6%	11	17.5%	26	41.3%	14	22.2%	0	0.0%	11	17.5%

取扱い3位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	8	12.7%	18	28.6%	12	19.0%	1	1.6%	24	38.1%
前期比	0	0.0%	8	12.7%	19	30.2%	11	17.5%	1	1.6%	24	38.1%
先行き	0	0.0%	9	14.3%	19	30.2%	10	15.9%	1	1.6%	24	38.1%

営業収入(売上高)	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	2	3.2%	14	22.2%	26	41.3%	16	25.4%	4	6.3%	1	1.6%
前期比	0	0.0%	17	27.0%	25	39.7%	18	28.6%	2	3.2%	1	1.6%
先行き	0	0.0%	13	20.6%	27	42.9%	21	33.3%	1	1.6%	1	1.6%

営業利益	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	2	3.2%	12	19.0%	27	42.9%	17	27.0%	4	6.3%	1	1.6%
前期比	0	0.0%	14	22.2%	29	46.0%	17	27.0%	2	3.2%	1	1.6%
先行き	0	0.0%	12	19.0%	26	41.3%	23	36.5%	1	1.6%	1	1.6%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	1	1.6%	34	54.0%	27	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
前期比	0	0.0%	24	38.1%	38	60.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
先行き	0	0.0%	23	36.5%	37	58.7%	2	3.2%	0	0.0%	1	1.6%

適正運賃の收受について

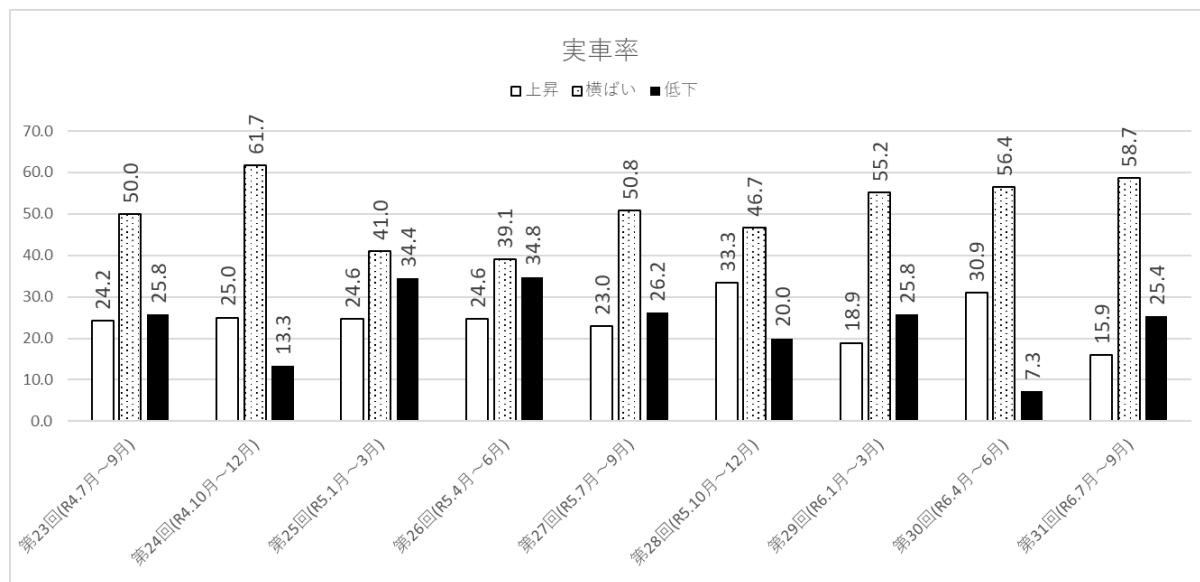
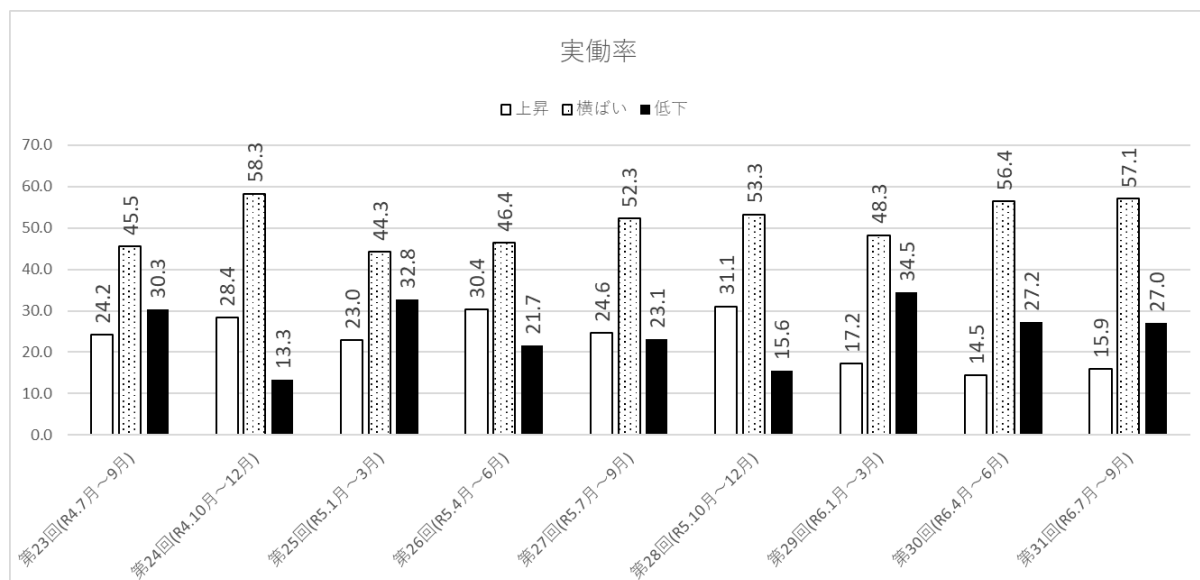
運賃交渉の状況	標準的な運賃を提示		標準的な運賃を考慮した自社運賃を提示		具体的な値上げ額や値上げ率を提示		提示していない(既存の自社運賃)		未回答	
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

原価の反映	人件費		固定費		燃料費		実費		積み込み料等	
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

待機料		付帯業務		改定なし		未回答	
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

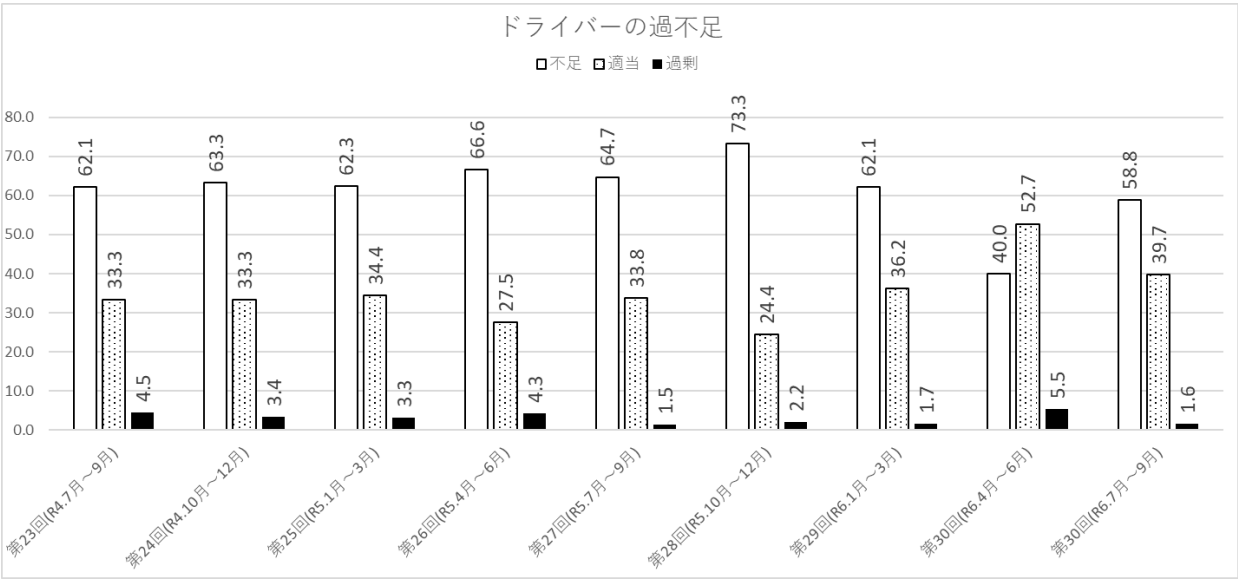
○実働率・実車率

実働率の前期比について、「上昇」が1.4 ㇿ増加し、「横ばい」も0.7 ㇿ増加しており、「低下」は0.2 ㇿ減少した。実車率については「上昇」が15 ㇿ減少し、「横ばい」は2.3 ㇿ増加し、「低下」は18.1 ㇿ増加した。



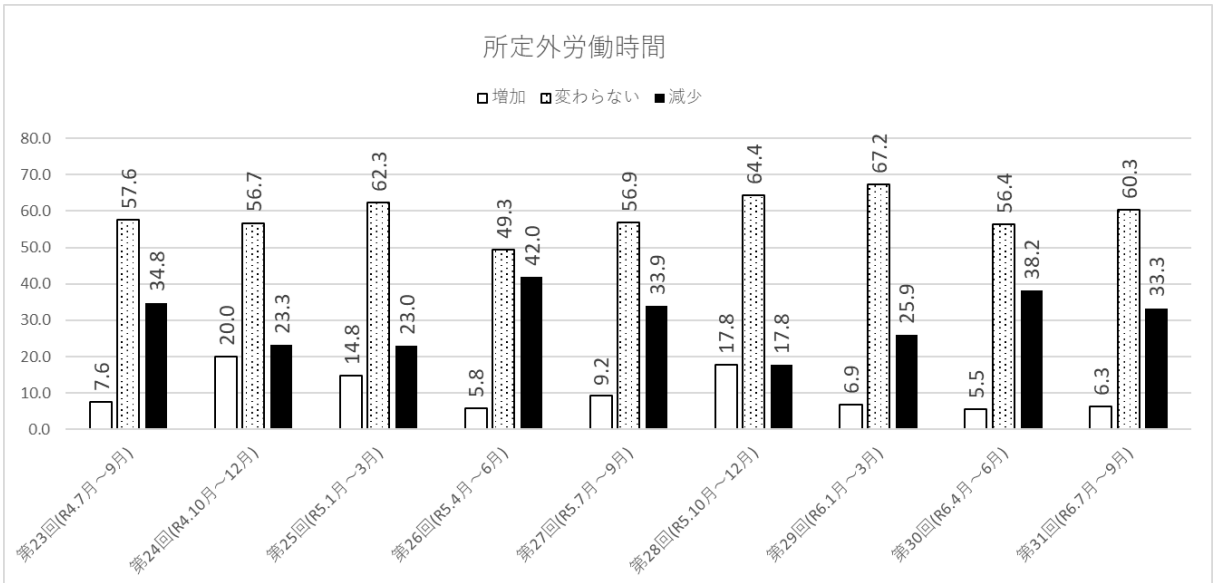
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について今期の状況は、「不足」との回答が18.8 ㊦増加し、「適当」との回答が13 ㊦減少し、「過剰」との回答が3.9 ㊦減少しており、業界の深刻なドライバー不足が見受けられる。



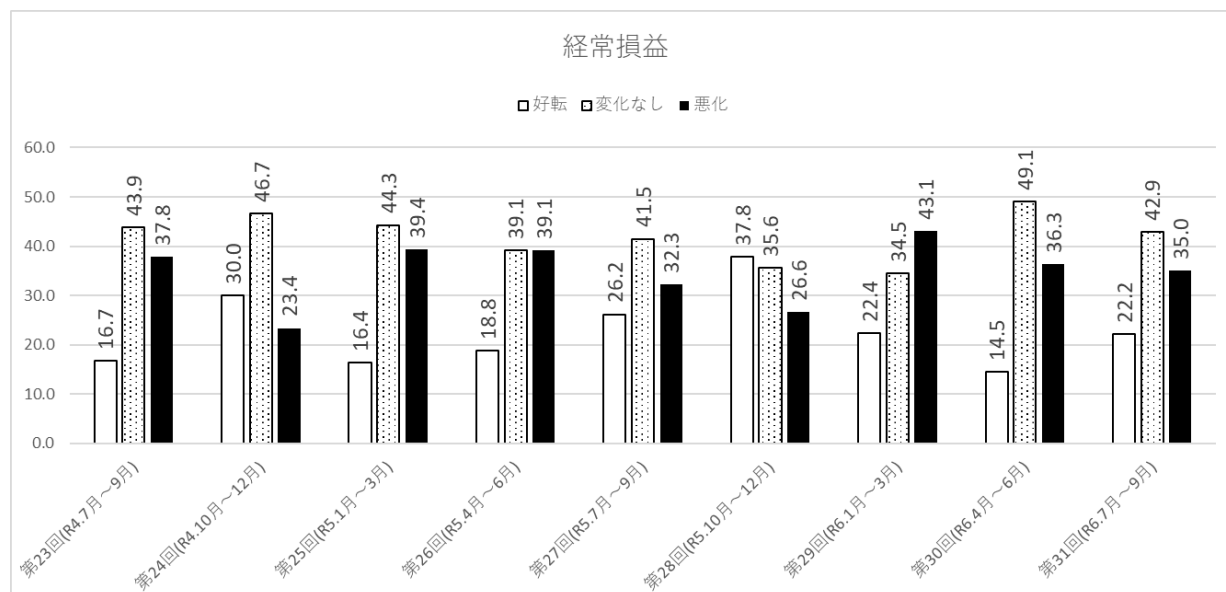
○所定外労働時間

所定外労働時間について、「増加」が0.8 ㊦、「変わらない」が3.9 ㊦それぞれ増加し、「減少」が4.9 ㊦減少した。2024 年問題の働き方改革の影響で一人当たりの労働時間の減少傾向が見受けられた。



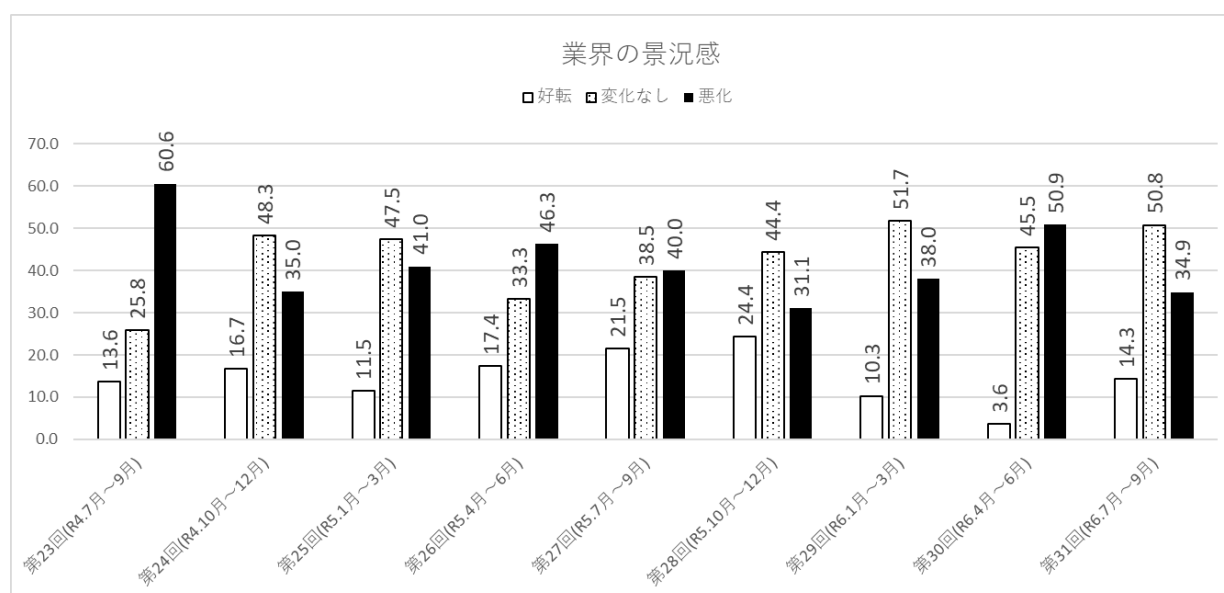
○経常損益

経常損益について、「好転」との回答が7.7 ㊦上昇し、「悪化」との回答が1.3 ㊦微減しており、3 期ぶりに好転の傾向が見受けられた。



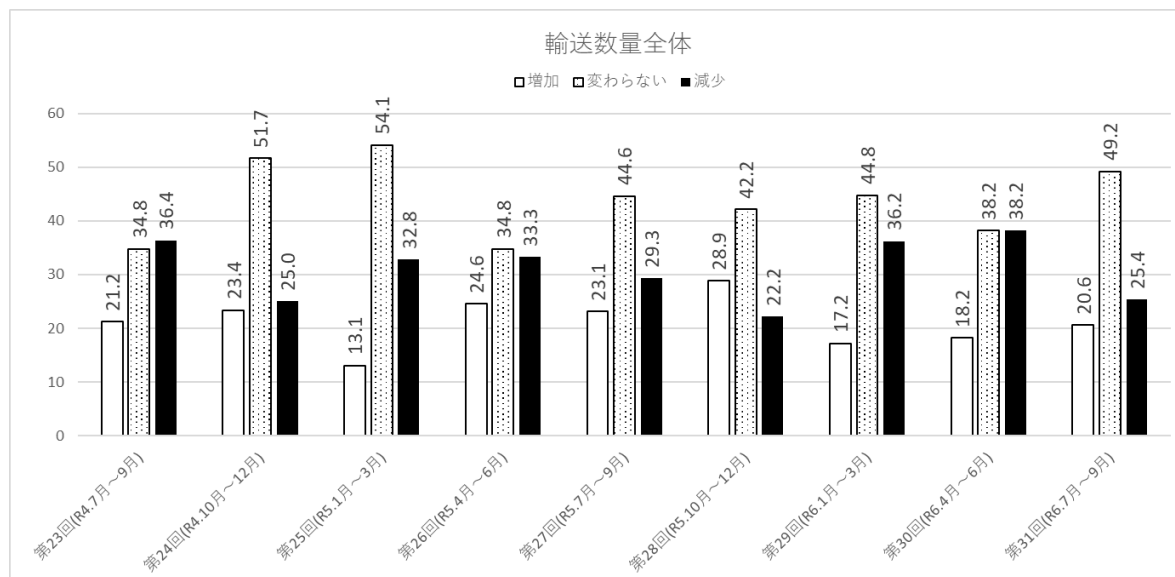
○業界の景況感

業界の景況感について、「好転」が10.7 ㊦増加しており、「悪化」は16 ㊦減少して、景況感の改善の傾向が見受けられた。



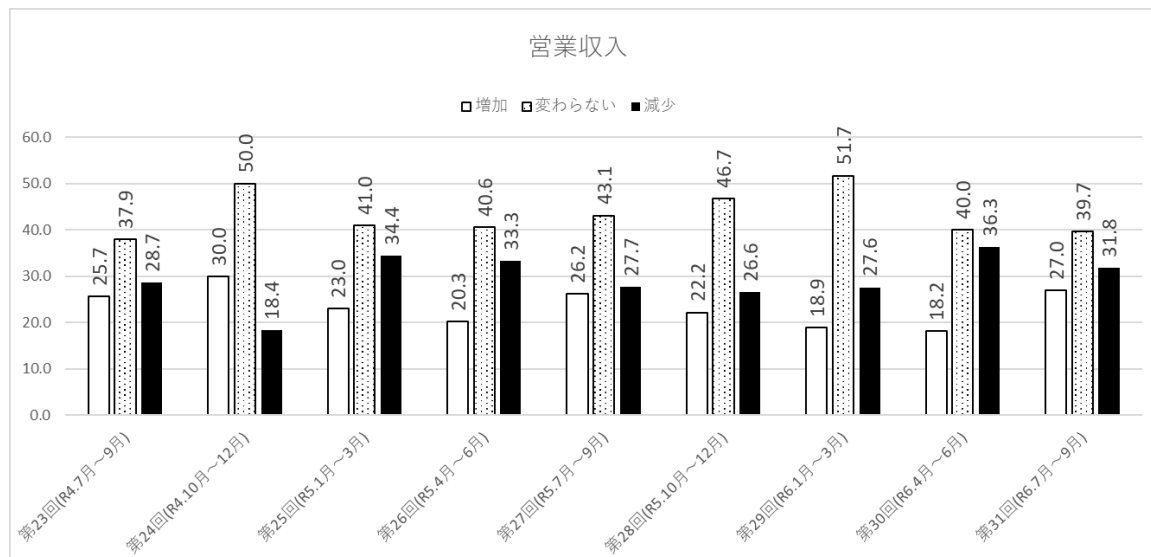
○輸送数量

輸送数量について、「増加」との回答が2.4 ㊦増加し、「減少」との回答が12.8 ㊦減少しており、「変わらない」が11 ㊦上昇しており、荷動きの改善の傾向が見受けられた。



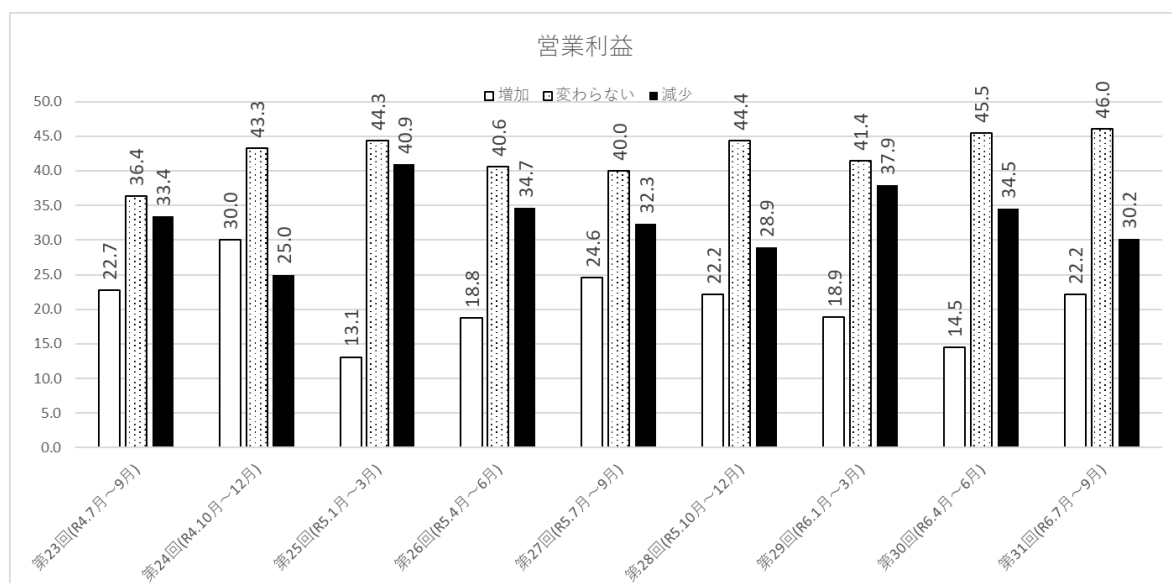
○営業収入

営業収入について、「増加」が8.8 ㊦増加し、「減少」が4.5 ㊦減少しており、事業者の売り上げも改善の傾向が見受けられた。



○営業利益

営業利益について「増加」が7.7 ㊦増加し、「減少」は4.3 ㊦減少しており、低調ながらやや回復の傾向が見受けられた。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準について、「上昇」との回答が7.2 ㊦増加し、「低下」についても7.3 ㊦減少しており、運賃・料金の水準は堅調に推移していることが見受けられる。

